

# あけまして おめでどうるぎ、います

## 町長 徳 永 哲 雄



新年あけましておめでどうございます。皆さまにおかれましては、令和4年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は町政全般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

昨年、コロナ禍の厳しい中、工夫と対策、そして日本国民の誇る「おもてなし」の心で、無観客とはいえ、東京オリンピックが無事開催され、劇的なドラマの記憶と感動を私たちの心に共有させていただきました。

当町におきましては、徐々にはありますが、さまざまな式典やイベントなどを開催の運びとさせていただきます。また、昨年5月下旬から4カ月間に亘り、希望され

た町民の皆さま全てに新型コロナウイルスワクチン接種を行わせていただきました。クラスターの発生や重篤となる感染者も出ておらず、町民の皆さまの節度とご協力により、深く感謝申し上げます。

ワクチン接種につきましては、2回目接種後、国の指針に沿って安全を期し、3回目の接種を実施する予定としております。

医師、看護師、並びに接種業務に携わっていただき、また多くの皆さまのお力添えと町民の皆さまのご協力を再度いただき、こととなり、但し、町一丸となって取り組んで参りたいと考えております。

町では、わくわく商品券の販売、事業者の皆さまに対する支援などのコロナ禍経済対策のほか、川湯温泉

の廃業ホテル解体を起点とした温泉街再整備、弟子屈中心市街地の再構築事業、生乳生産量調整等農業を取り巻く環境に対する取組み、交通死亡事故ゼロ1500日達成、北海道で上位の実績となっており、また「ふるさと納税」の好調な推移、次代を担う子どもたちへの支援、企業誘致制度の強化、暮らしに直結する各重要施策など、まだ目に見えない部分もありますが、さまざまな事柄が進んでおります。

年末には地球温暖化を起因とする脱炭素社会に向け、二酸化炭素排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を本町も発出いたしました。また、弟子屈町の地熱資源開発もまた重要な施策の一つと考えております。

本年4月から今後の8年間、町の進むべき道しるべとなり、第6次弟子屈町総合計画の策定を現在進めておりますが、議会討論により議決をいただき、その後、広報4月号と共に皆さまにお伝えさせていただきます。

町政を担わせていただき、6期目道半ばであり、公正と融和、「結束と行動」を信条とし、「豊かさ」や「幸せ」を実現できる「まちづくり」に邁進させていただきます。

今後、皆さまと共に考え、行動し、着実な歩みを進めてまいりたいと存じます。

新春の門出にあたり、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



## 町議会 議長 近江屋 茂



町民の皆さま、あけましておめでどうございます。令和4年の新春を迎えるにあたり、町議会を代表し謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことを、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から町議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症による影響はさまざまな分野にダメージを与えました。ワクチン接種や新薬の開発により、少しずつではありますが、日常を取り戻せるのではないかと期待しております。

また、気温の上昇や多雨、少雨などの気候変動の影響も今後も気の許せない状況であり、地方自治体を取り巻く環境も依然として厳しい状況にあります。今後におきましても、わが町

の発展のため執行機関と向き合い、住民の代表機関としての議会の機能を果たし、さまざまな課題の解決に努力を重ねてまいります。また、町民の皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな年が皆さまにとって、さらなる飛躍と充実の年であり、また、ご清祥とご多幸を祈念申し上げます。

### 謹賀新年

#### 弟子屈町議会

- 議長 近江屋 茂
- 副議長 高橋 正秀
- 議員 八幡 豊行
- 議員 小川 義雄
- 議員 鈴木 康弘
- 議員 高砂 弥生
- 議員 三上 務
- 議員 武山 秀樹
- 議員 徳永 則行
- 議員 大道 賞二
- 議員 萩原 寛暢

# 実り多い一年を願って

## 町教育委員会 教育長 岩原 勝行



新年あけましておめでどうございます。令和4年の輝かしい初春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、本町の学校および地域の教育力向上や教育環境の整備推進のために、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、学校教育におきましては、新型コロナウイルス感染症による休校はありませんでした。しかし、運動会や修学旅行などの行事が緊急事態宣言発令のため、規模の縮小や延期となり、通常通りの実施とはいかない状況がありました。

また、4月からは全ての小・中学校でGIGAスクール構想による一人一台タブレット端末の活用が始まりました。積極的にタブレットを使う子どもたちの学習が展開されています。

社会教育活動におきましても、度重なる緊急事態宣言発出により、文化・スポーツ・交流行事の縮

小や中止を余儀なくされましたが、生きた講座をはじめ、少年団交流会など、感染対策を行いながら活動を継続してまいりました。町民の皆さまのご理解とご協力のもとコロナ禍でありながら各種活動を再開できてきたことは感謝の念に堪えません。

本年におきましても、コロナ禍ではありますが、しっかりとした感染対策を行い、町民の皆さまに喜んで頂けるような事業を工夫を凝らしながら実施してまいります。

結び、本年が皆さまにとりまして、希望に満ちた実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

### 謹賀新年

#### 弟子屈町教育委員会

- 教育長 岩原 勝行
- 教育長職務代理者 金井 秀明
- 委員 菅原 誓之
- 委員 吉田 一徳
- 委員 宮田 昇子

# 年頭にあたって

町民の皆さま、あけましておめでどうございます。令和4年の新春を迎えるにあたり、町議会を代表し謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことを、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から町議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症による影響はさまざまな分野にダメージを与えました。ワクチン接種や新薬の開発により、少しずつではありますが、日常を取り戻せるのではないかと期待しております。

また、気温の上昇や多雨、少雨などの気候変動の影響も今後も気の許せない状況であり、地方自治体を取り巻く環境も依然として厳しい状況にあります。今後におきましても、わが町